

あしひきの 山鳥の尾の しだり尾は いつ抜ける？



概要

- ・ ヤマドリは九州から東北まで生息しており、5亜種に分類されている。当地のヤマドリはシコクヤマドリとされている。
- ・ シコクヤマドリ *S. s. intermedius* (Kuroda, 1919)
- ・ 兵庫県南部および中国地方(鳥取県、島根県南部、岡山県、広島県、山口県東部)と四国地方(香川県、徳島県、高知県)に分布するとされる。(日本鳥類目録改訂第8版)
- ・ 低山～普通に生息していて、個体数は少なくはないが、森林に住んでおり警戒心は強く、尾の長さを観察するのは困難なので、伸長状態の観察記録は少ない。
- ・ ヤマドリの尾羽はT1が長くT9の順に短くなる左右18枚で構成されている。T1が特に長いのは古くから知られて、和歌にも詠まれている。

目的

- ・ ヤマドリの尾羽は換羽によっての季節的な変化はあまり知られていない.
- ・ 経験的には夏に尾羽が短くなるのは分かっていたが、何時頃から尾羽が短くなり、伸長が完了するのか分からなかったので、本研究では、通年観察から尾羽の節を数えて、季節による節数の情報を整理する事を目的とした.
- ・ また、得られた結果から尾羽の伸長速度を推測する事を目的とした.

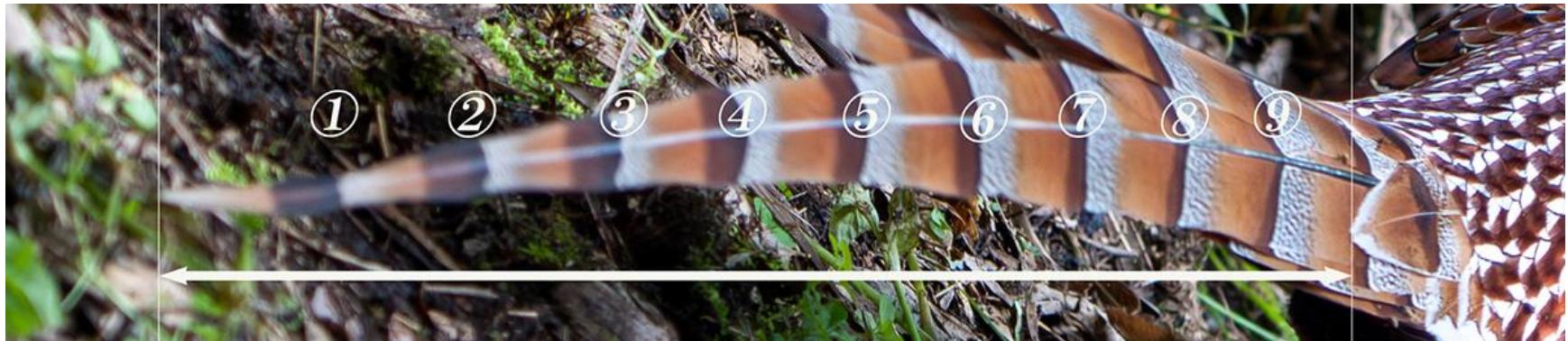
調査地 香川県まんのう町, あやがわ町周辺



調査方法

- 尾羽の長さは測れないので、節数が分かるように写真撮影を行い、節数をカウントした。尾羽は、節が白地に黒のQRコード状の模様、茶色、黒色と分かれている。尾羽の先端から上尾筒の先端までの節数をカウントした。観察の度にその節数をカウントすれば、実際の長さは解らないが、ある程度の参考になると考えた。
- 数え方は、先端から上尾筒の先端までの節を数えた。最後の節（尾羽の付け根）は上尾筒で隠れている事も多いので、目測で1/10までを予想した。中央尾羽2枚の長さが異なる場合は、長い方を数えた。
- 節毎に模様が異なっており、節の模様を詳細に観察すれば、目的のT1かそれ以外か識別可能。

節のカウントの定義



- T1の先端から上尾筒の先端までの黒い節をカウントした。
- 左右のT1の長さが違っている場合は長い方を数えた。

節のカウント方法

- ・毎回、尾羽を撮影して節を数えるのは不可能なので、1度でも尾羽の節数が解れば、付け根付近の節の模様を比較する事で全体の節数を割り出す事が出来る。
- ・尾羽が短くなっている場合は、抜けた以外に途中で折れた可能性も否定できないので、尾の付け根付近の節の模様を詳細に調べて、中央尾羽かそれ以外か確認した。中央尾羽の場合は、折れても、抜けていないので前と同じ節数とした。

直接視認での確認



前回との比較での確認



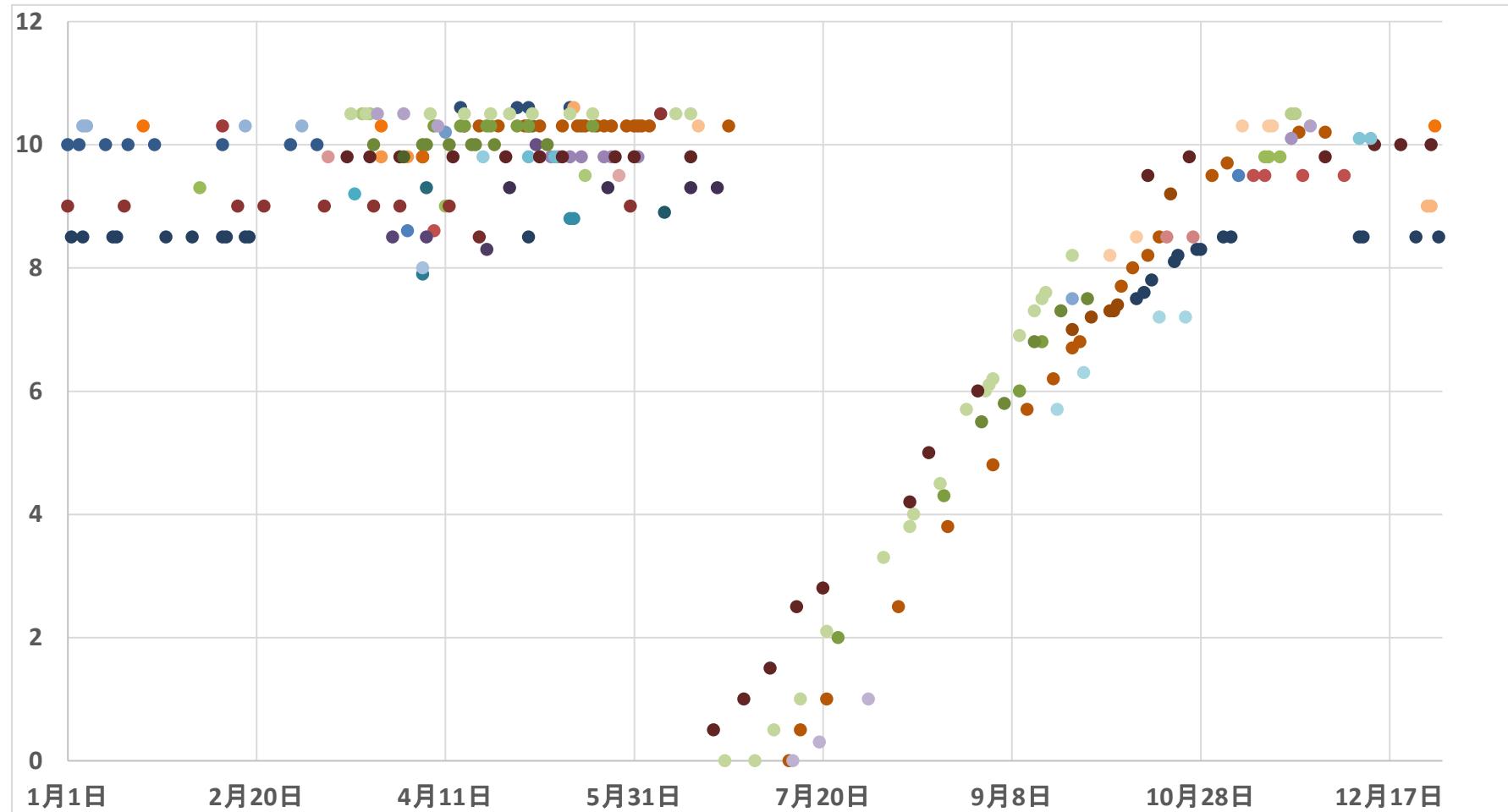
複数枚の合成



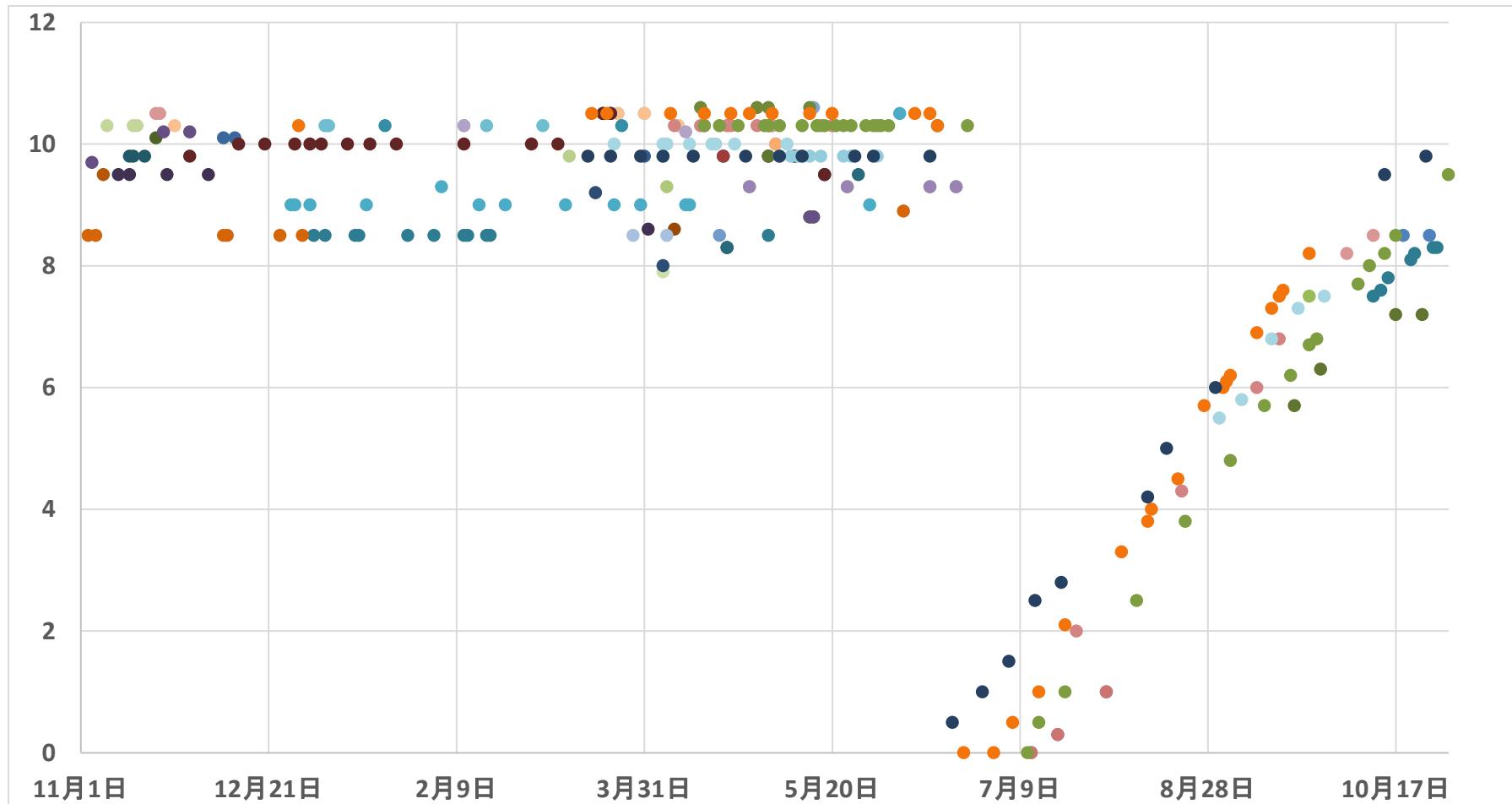
結果

- 2004年～2025年の約20年で有効な成鳥♂53個体, 255件のデータを縦軸を尾羽の節数, 横軸を月日としてグラフ化した.
- 夏季の尾羽の伸長状況(観察回数4回以上)を観察開始日, 終了日, その間に伸びた節数を表, およびグラフ化した.

ヤマドリ尾羽の季節的な節数



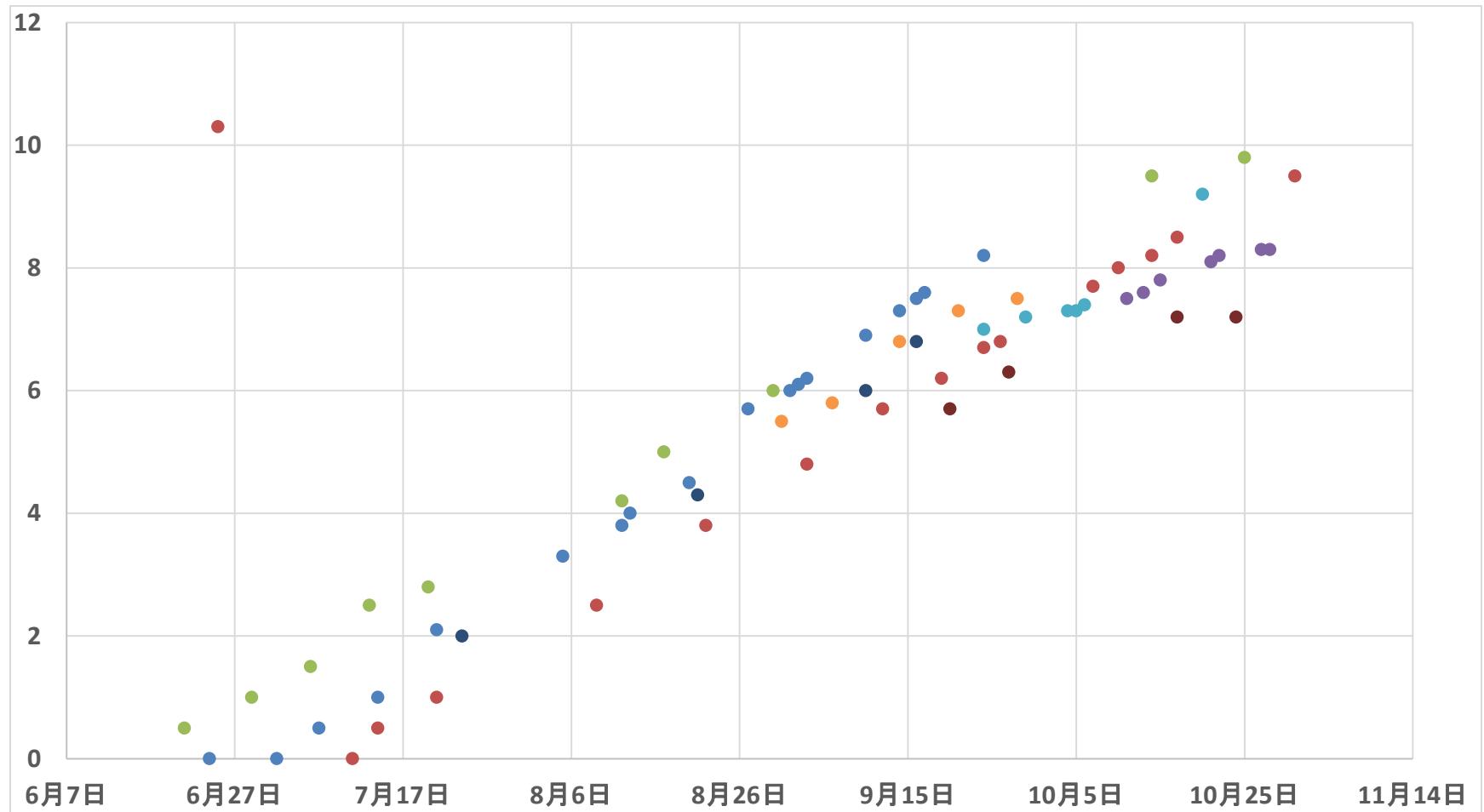
11月1日始まり



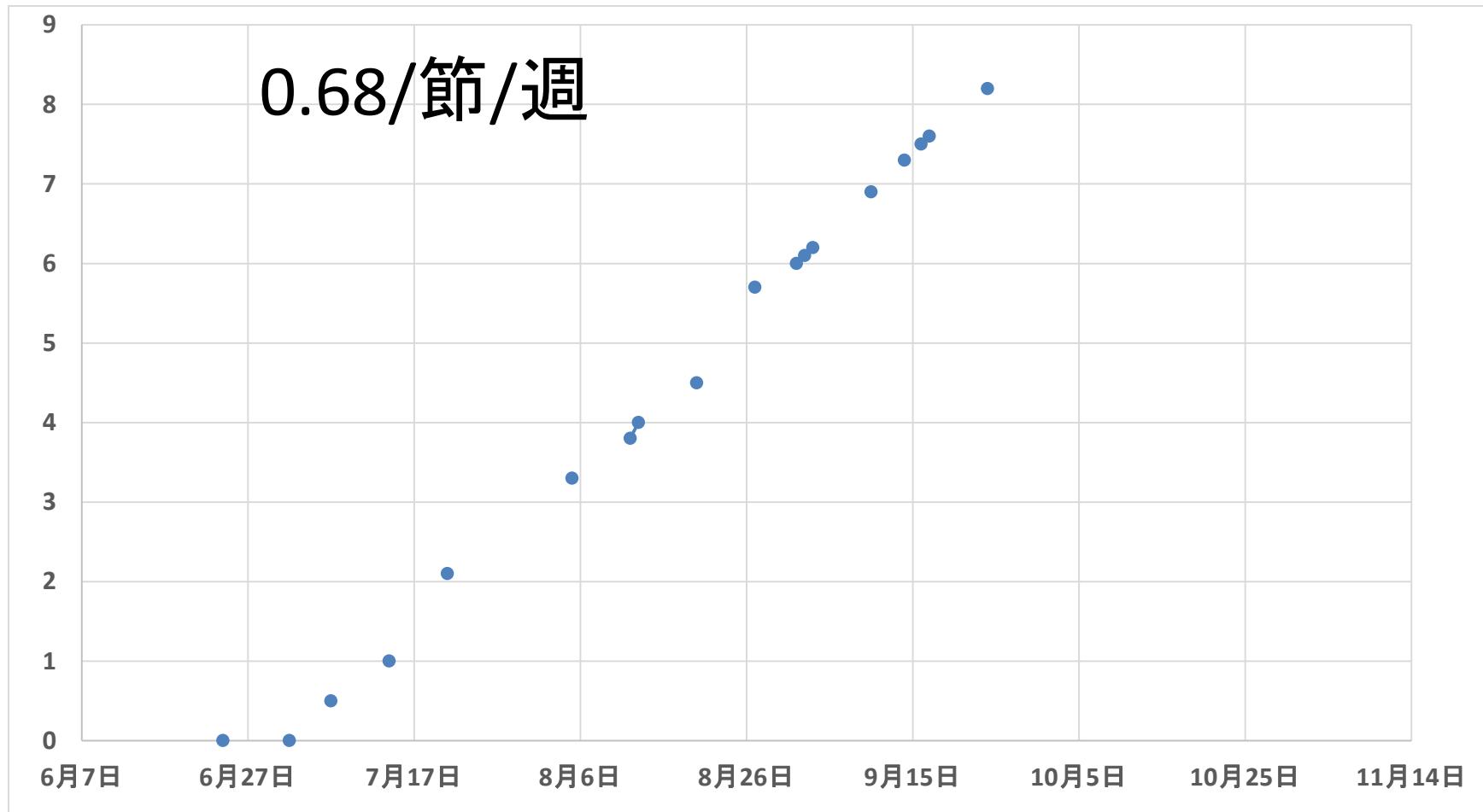
夏季の尾羽の伸長状況(観察回数4回以上)

	開始日	終了日	観察日数		観察週		節の数		節の数		観察回数
A	7月2日	9月24日	84	日	12.0	週	8.2	節	0.68	節/週	17
B	7月11日	10月31日	112	日	16.0	週	9.5	節	0.59	節/週	16
C	6月21日	10月25日	126	日	18.0	週	9.3	節	0.52	節/週	10
D	10月11日	11月3日	23	日	3.3	週	1	節	0.30	節/週	7
E	9月24日	10月20日	26	日	3.7	週	2.2	節	0.59	節/週	6
F	8月31日	9月28日	28	日	4.0	週	2	節	0.50	節/週	5
G	7月24日	9月16日	54	日	7.7	週	4.8	節	0.62	節/週	4
H	9月20日	10月24日	34	日	4.9	週	1.5	節	0.31	節/週	4

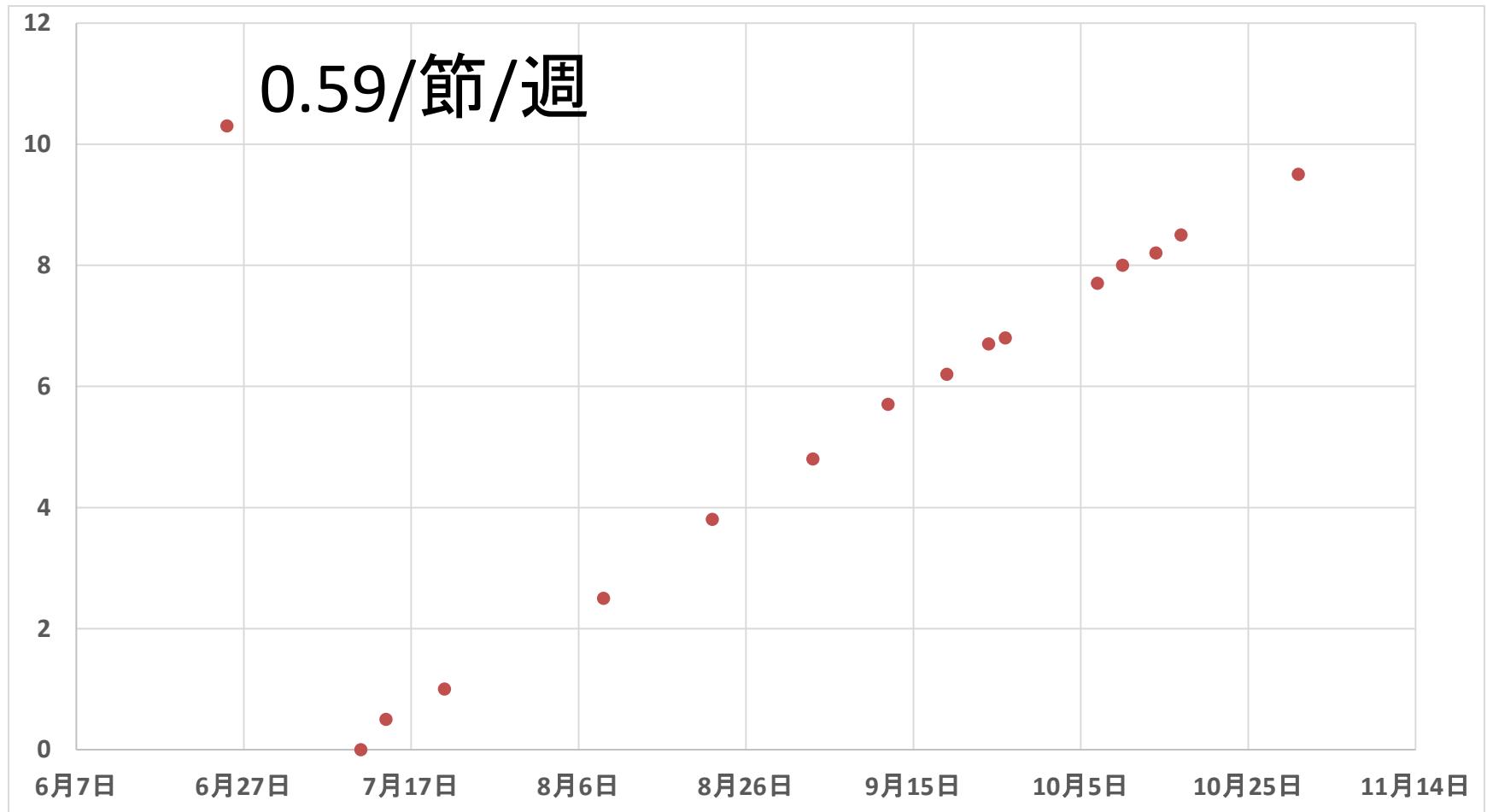
夏季の尾羽の伸長状況(N=8)



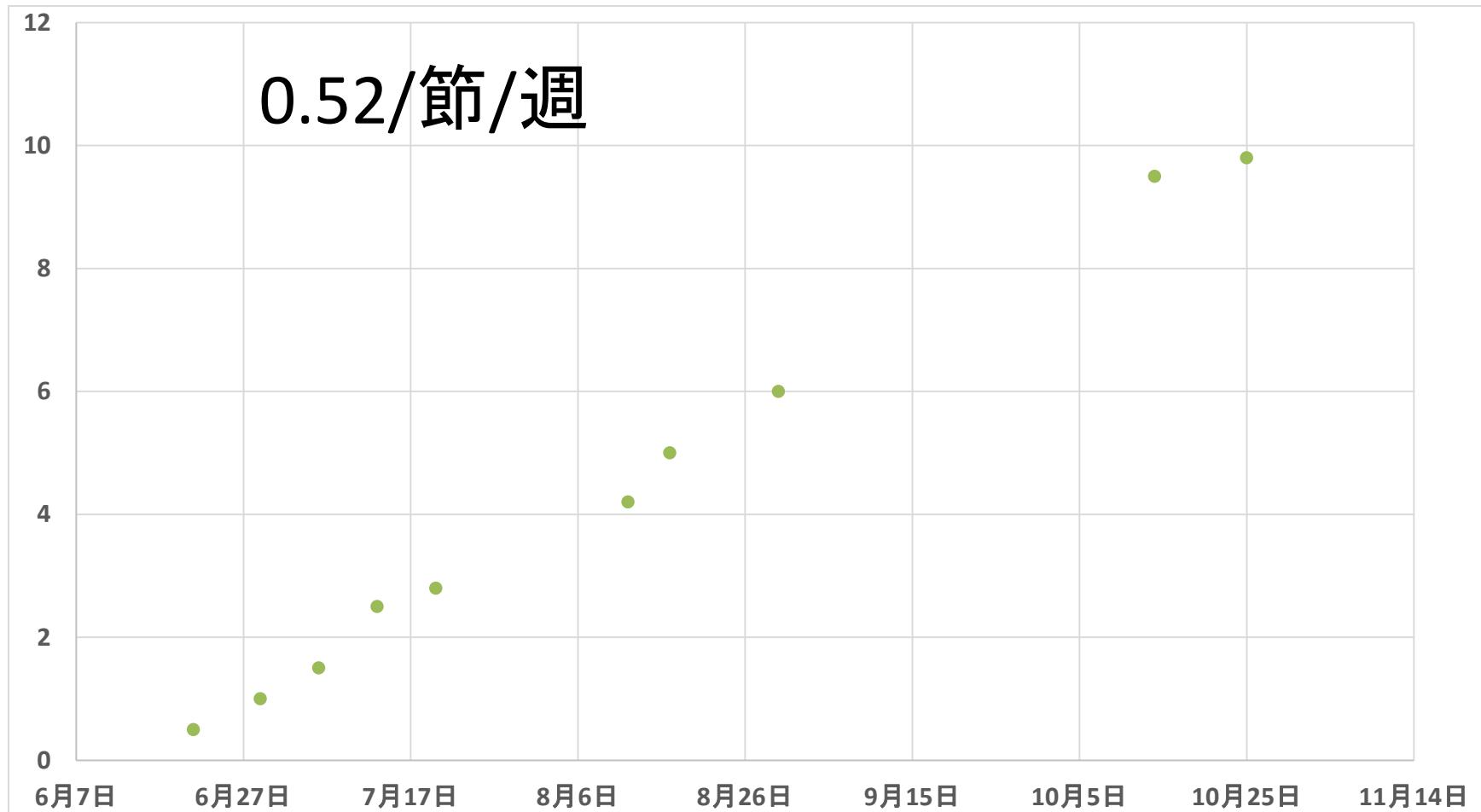
A個体 6/27～9/24



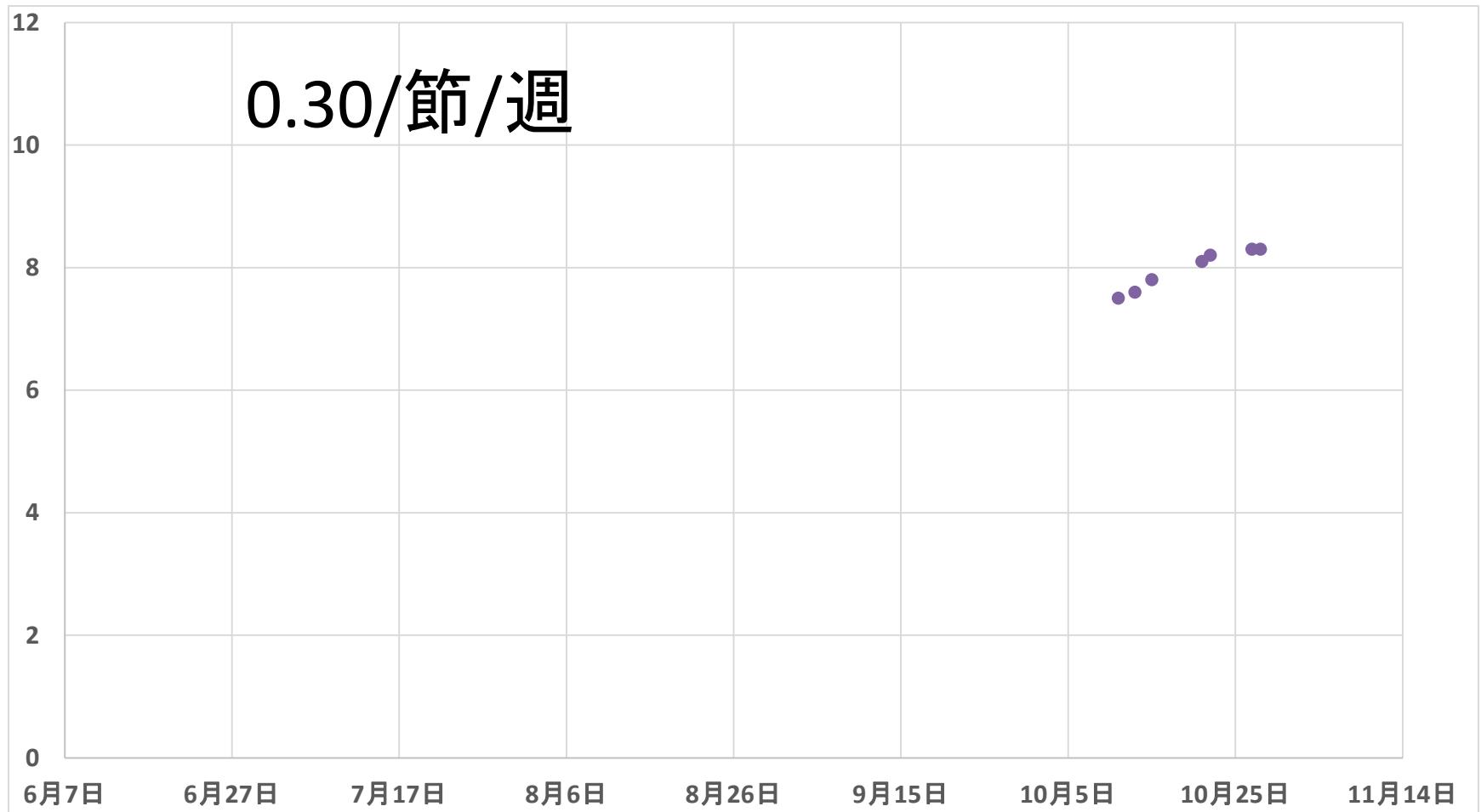
B個体 7/11～10/31



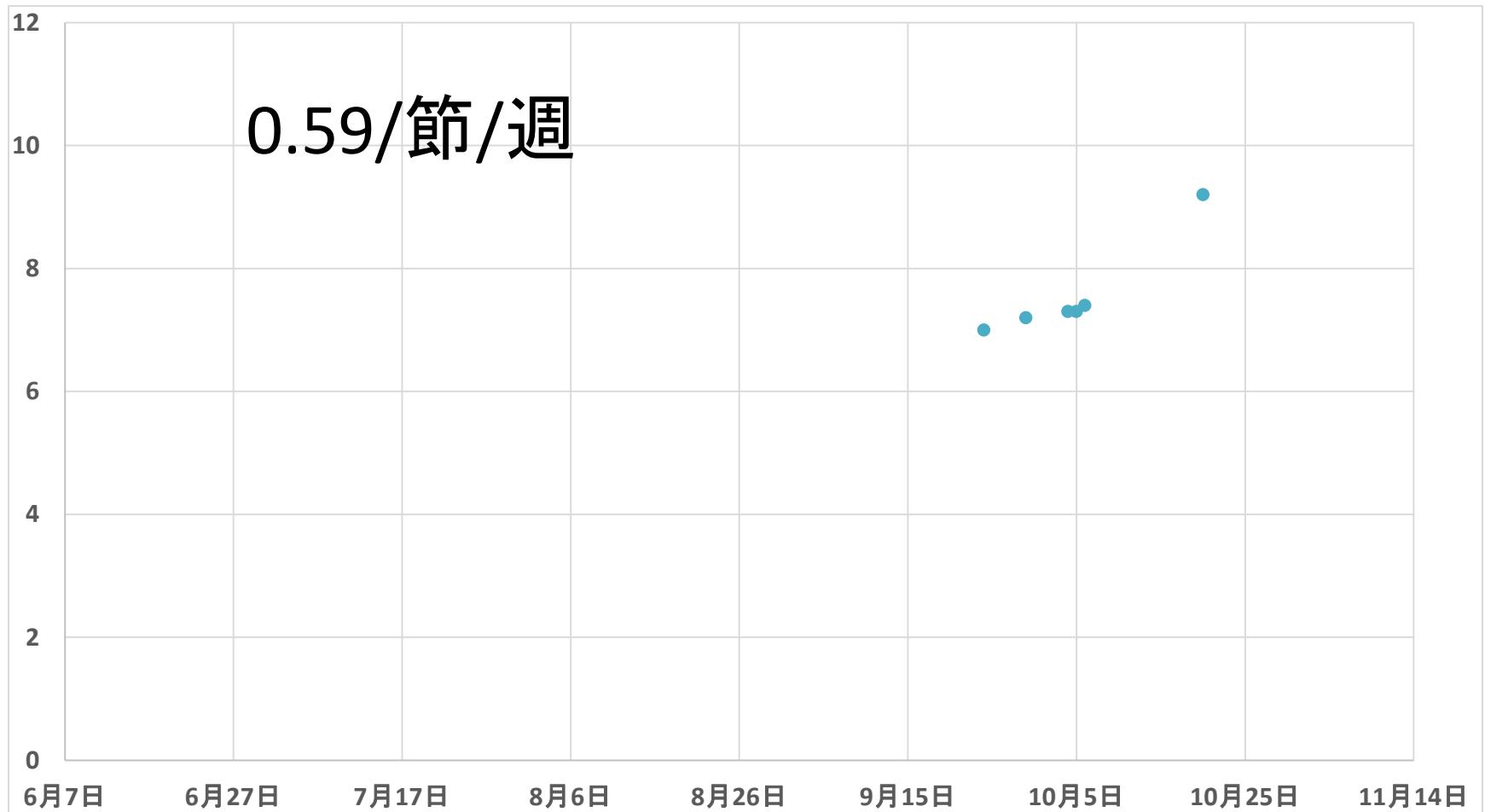
C個体 6/21～10/25



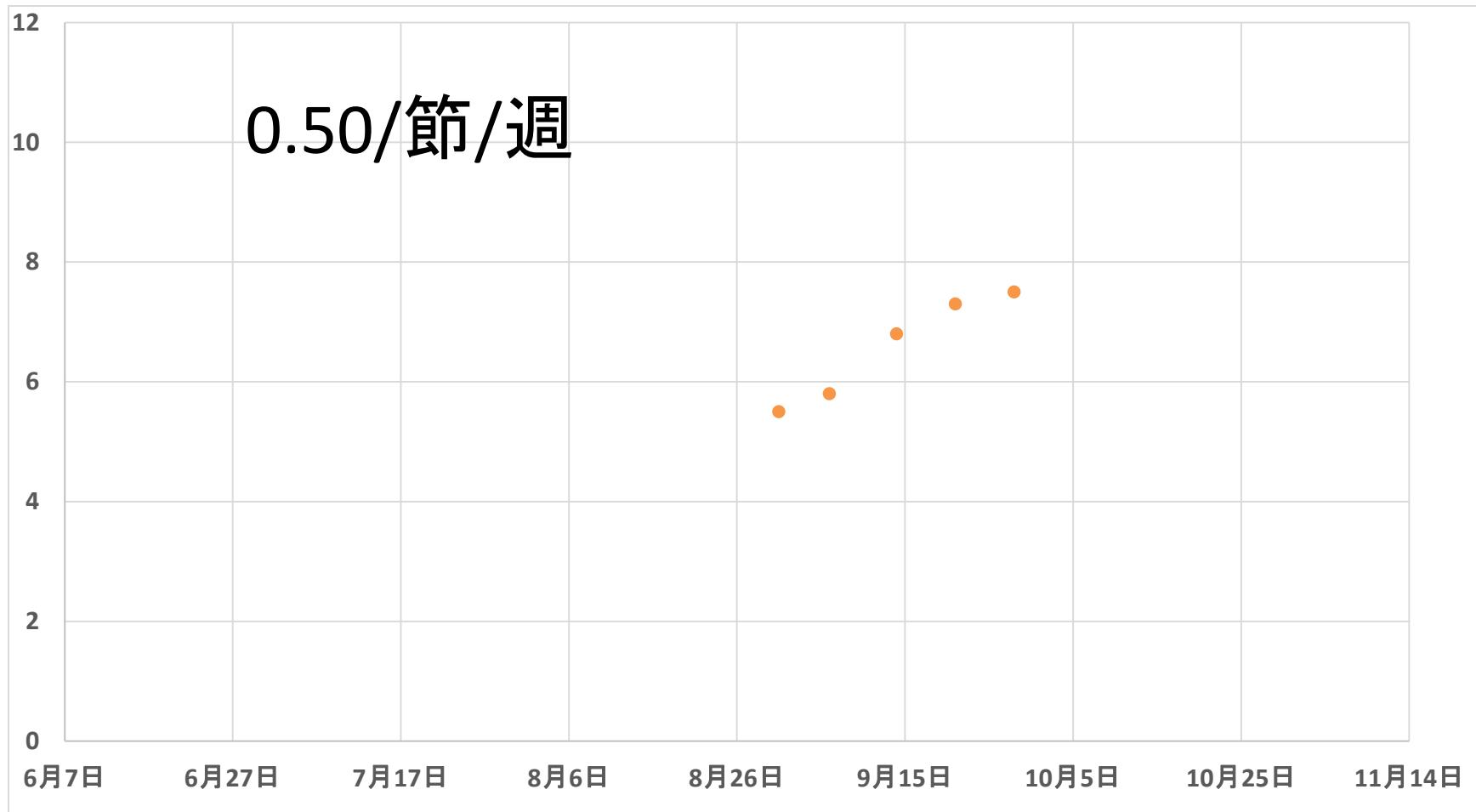
D個体 10/11～11/3



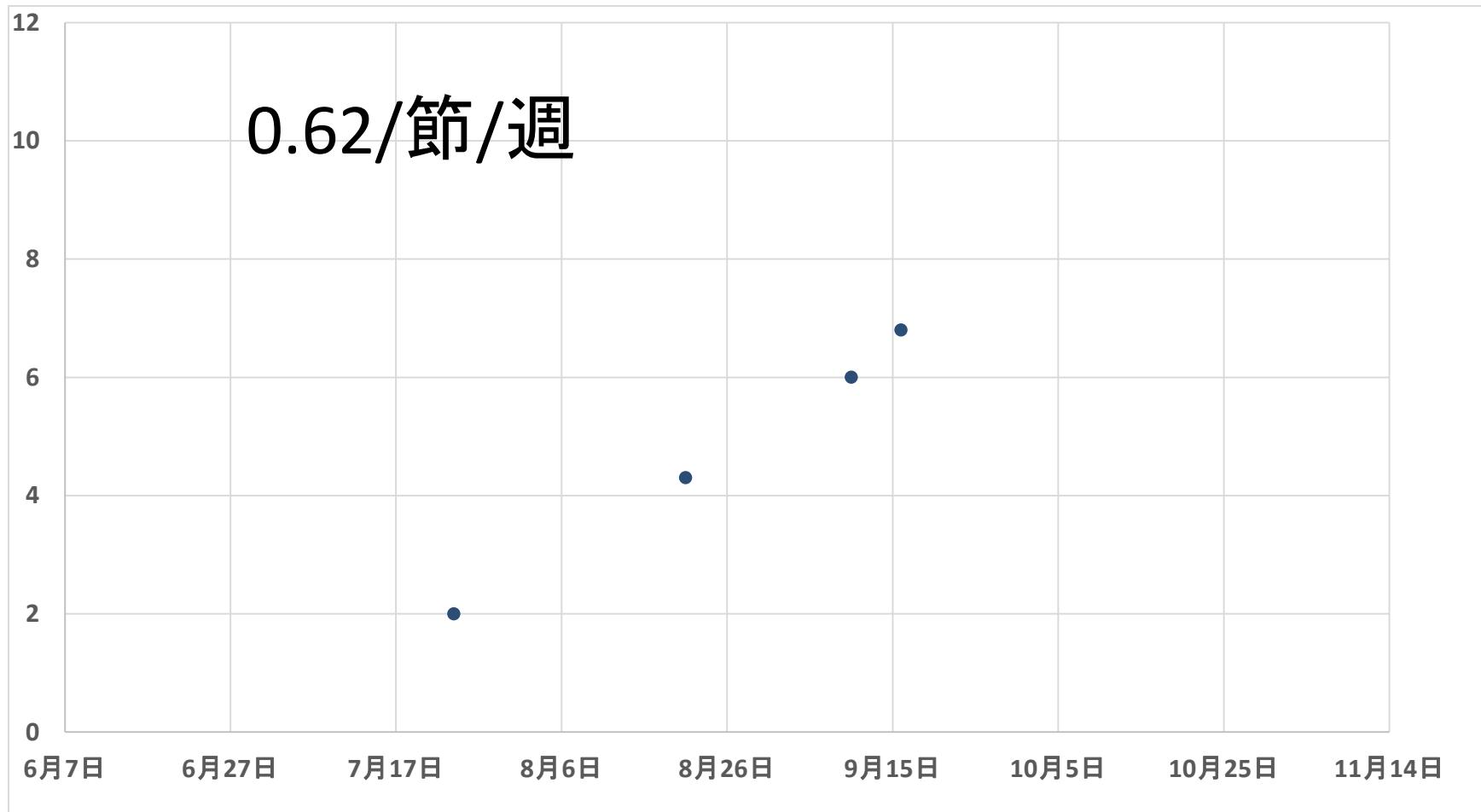
E個体 9/24～10/20



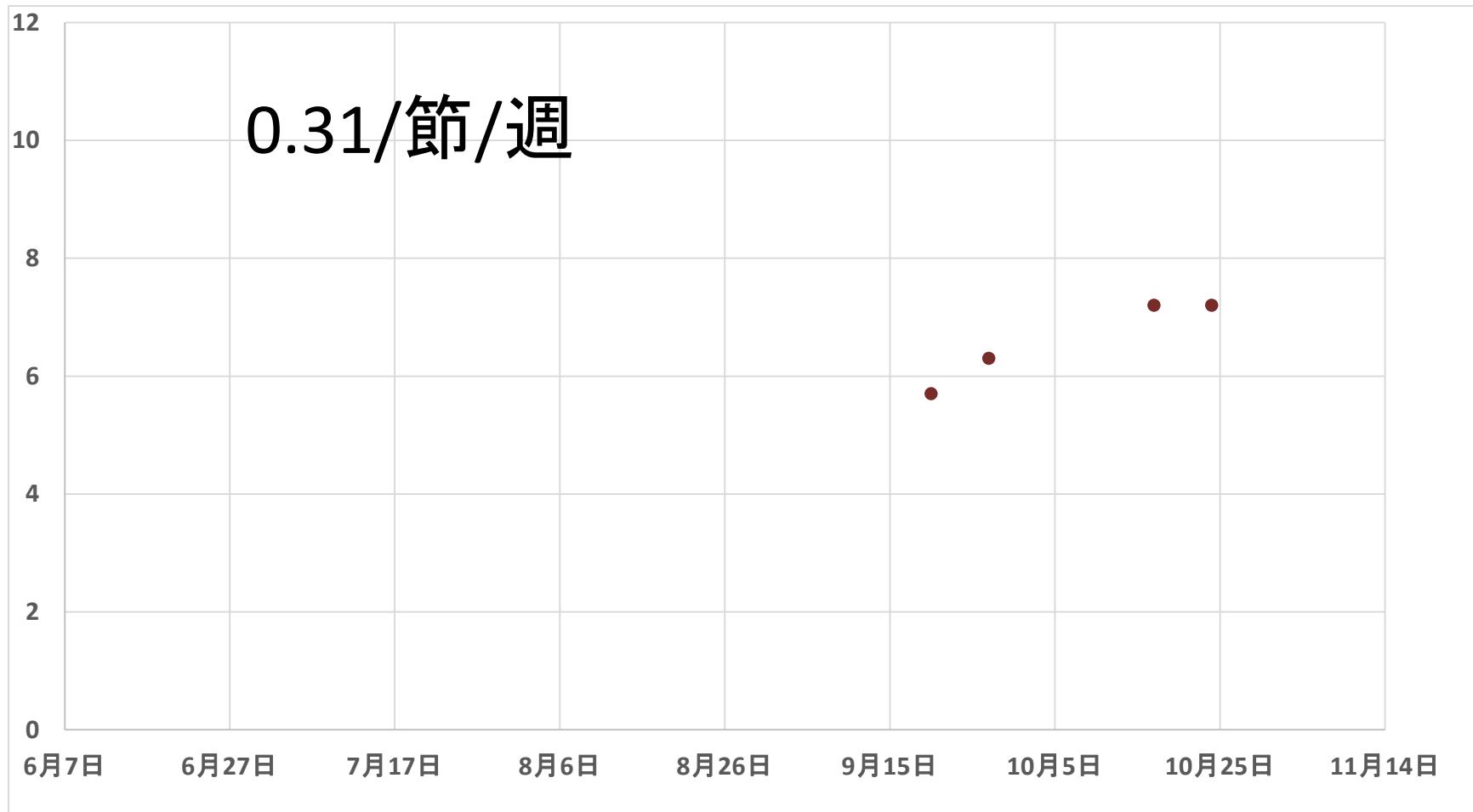
F個体 8/31～9/28



G個体 7/24～9/16



H個体 9/20～10/24



結論

- 尾羽は6月中旬頃から抜け始めて、11月上旬頃に伸長が完了する。節数は0～10.3節（N=13）
- 尾羽が伸びる速さは0.3～0.62節/週であった。
- 11月上旬～6月中旬は7.9節～10.6節（N=49）で、11月上旬以後は伸長していない。
- この伸長速度に差があったり、伸長完了時に2節程の差があるのは、調査の誤差なのか、個体差なのか、年齢によるものかは解らない。今後詳細に観察したい。

引用文献

高橋松人. 2011. ヤマドリの繁殖スケジュールと配偶システム. 山階鳥学誌. 43: 33–46.



2023/03/17 10:03:49



2023/06/09 14:17:15



2023/06/15 13:33:09



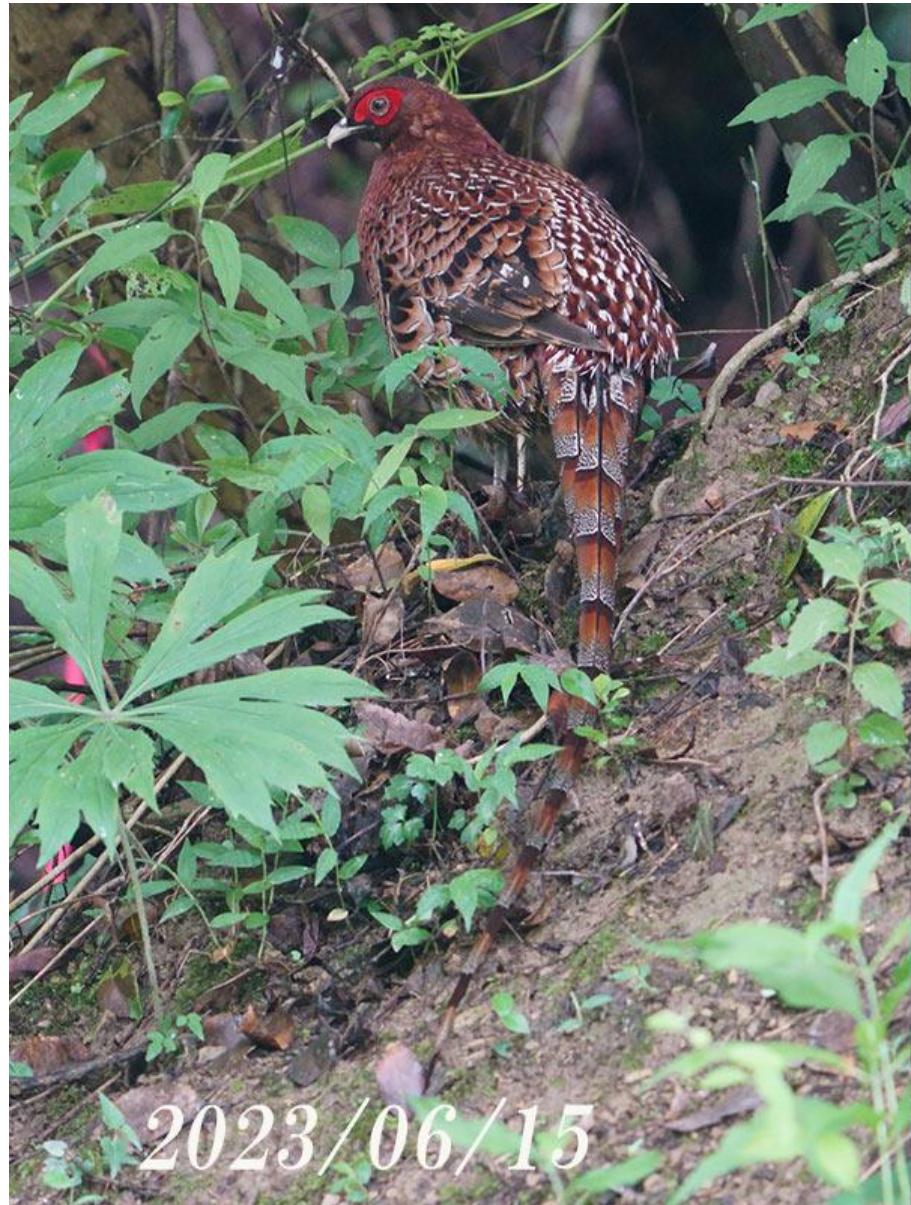
2023/06/24 12:53:52



2023/06/15



2023/06/24



2023/06/15



2023/06/24



2023/07/02 12:47:13

2023/07/07 8:41:19





2023/08/05 11:06:29



2023/08/12 9:38:17



2023/08/20 13:32:12

END



観察に際し、情報提供してくれた里山俱楽部の仲間たち
観察を許してくれたヤマドリたちに心から感謝します。

2023/09/01